

このたびは、「消音ピアノユニット SPA - 7500」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本機の機能を十分にご理解いただき、未永くご愛用いただくために、この取扱説明書をよくお読み下さるようお願い申し上げます。

尚、本書の内容は改善のために、予告なしに変更することがあります。

消音ピアノユニット

P I A M A T E
SPA-7500

取扱説明書

目次

1 . S P A - 7 5 0 0 の特長	1
2 . 使用上のご注意	2
3 . 各部の名称	3
4 . 使用方法	5
5 . デモ演奏を聴く	6
6 . 録音と再生	7
7 . 変速再生	8
8 . メトロノームを使う	9
9 . 音色設定	11
10 . リバース設定	13
11 . 設定調整	14
11-1 チューニング	15
11-2 鍵盤取付調整	16
11-3 黒鍵音量調整	17
11-4 鍵盤ごとのレベル調整 (左44鍵盤)	18
11-5 鍵盤ごとのレベル調整 (右44鍵盤)	19
11-6 設定を初期化する	20
12 . M I D I / R S - 2 3 2	21
12-1 M I D I 接続例	22
12-2 R S - 2 3 2 接続例	23
12-3 M I D I インプリメンテーションチャート	24
13 . 本体仕様	25
14 . 故障かな?と思ったら	26
15 . アフターサービス	27

1 . S P A - 7 5 0 0 の特長

お手持ちのピアノに取り付けるだけで、消音ピアノとしてご使用いただけます。

ワンタッチ操作で、消音ピアノ / ピアノ実音の切り換えができます。

消音ピアノユニットを取り付けても、鍵盤のタッチは損なわれません。

ソフトペダル、ダンパーペダル操作が可能です (オン/オフ式)。

9種類の音色が選択できます (内3種類は73音色中から選択可能)。

内蔵のメトロノームに合わせて演奏ができます。

ワンタッチで演奏の録音、再生が可能です。また、再生速度の変更も可能です (0.5倍から2倍まで)。

M I D I や R S - 2 3 2 にてパソコンと接続ができます。パソコン接続により、本機はM I D I 音源やM I D I キーボードとして使用可能です。

ライン出力によりオーディオ機器との接続ができます。

最大同時発音数は64音です。
ただし、リバース設定時は50音になります。

高品質のP C M音源を使用し、生に近い音を実現しています。
ただし、ご使用のピアノとは音色が異なります。

2 . 使用上のご注意

消音ピアノユニットを末永くご愛用頂くために、次の注意事項を守ってご使用下さい。

付属されているACアダプタ以外でのご使用や、AC100V以外でのご使用は、絶対におやめ下さい。

ACアダプタの抜き差しは、コードを引張ったり、ぬれた手では行わないで下さい。また、コードを無理に曲げたり、重い物を乗せないで下さい。

ACアダプタおよびユニット間の各ケーブルを抜き差しされる場合は、必ず電源を切りに行ってください。

長時間ご使用にならないときは、必ずACアダプタを抜いて下さい。

ヘッドホンプラグの抜き差しは、プラグを持って行って下さい。無理に力かけるとコードの断線により音が出なくなることがあります。

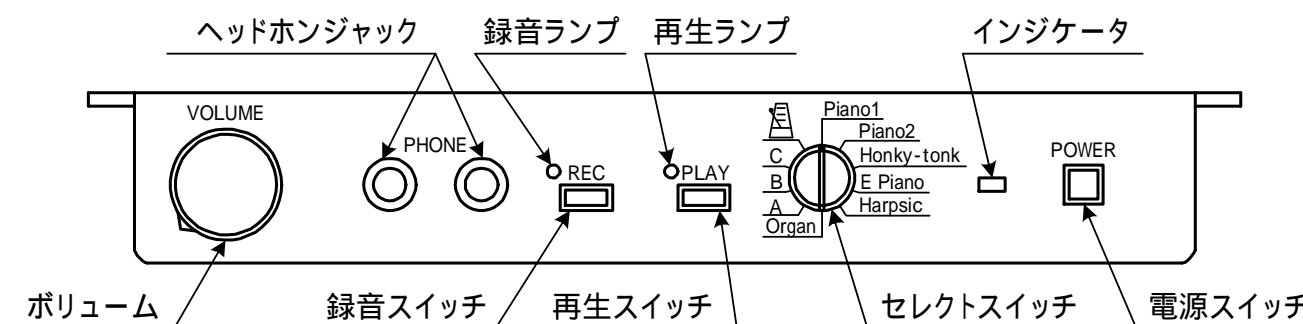
高温多湿な場所は避けて下さい。また、本機は多少発熱することがありますが、故障ではありません。

強い衝撃を与えたり、異物（硬貨や針金など）または液体（水、ジュース、酒など）を入れないように注意して下さい。

分解や改造はしないで下さい。

お手入れの際は、必ずACアダプタをコンセントから抜き、柔らかい布で軽く拭き取って下さい。また、ベンジンやシンナーで拭くことはお避け下さい。

3 . 各部の名称



音源BOX前面

ボリューム

ヘッドホンの音量、ライン出力の音量を調節します。左に回すと音量が小さくなり、右に回ると音量が大きくなります。

ヘッドホンジャック

ヘッドホンを接続します。同時に2つのヘッドホンが使用できます。

セレクトスイッチ

発音する音色を選択します。A, B, Cの音色は設定変更が可能です(11頁)。

Piano1 (ピアノ1)

Piano2 (ピアノ2)

Honky-tonk (ホンキートンクピアノ)

E. Piano (エレクトリックピアノ)

Harpsic (ハーブシコード)

Organ (オルガン)

A (出荷設定 ビオラ)

B (出荷設定 シンセサイザー)

C (出荷設定 ビブラホーン)

メトロノーム (メトロノームのオン/オフ及び、拍子等の設定変更: 9頁)

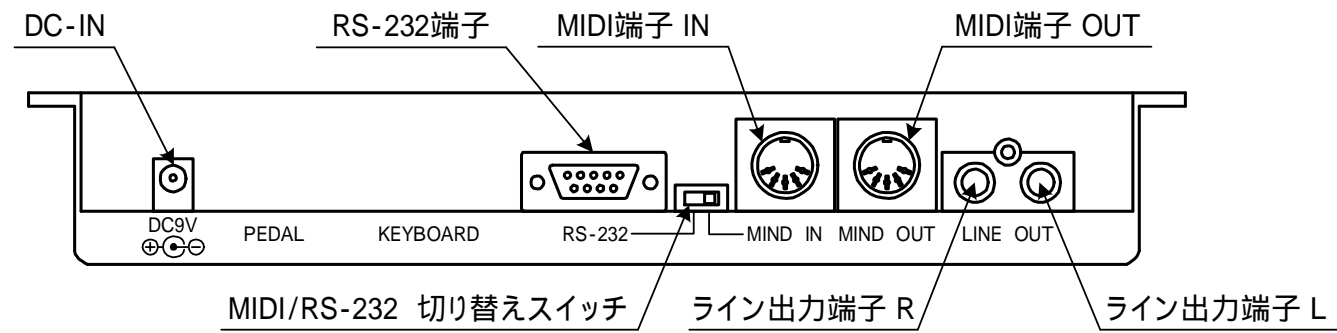
録音スイッチ / 録音ランプ

録音スイッチを押すと録音ランプが点灯して演奏の録音を開始します。(7頁)
もう一度押すと録音ランプが消灯して録音を終了します。

再生スイッチ / 再生ランプ

再生スイッチを押すと再生ランプが点灯して録音した演奏を再生します。
もう一度押すと再生ランプが消灯して再生を終了します。また、再生スイッチを押しながら電源を入れることにより、デモ演奏を再生することができます。
(6~7頁)

4 . 使用方法



音源BOX背面

インジケータ

電源を投入すると点灯します。また、このランプは音源BOXの発音表示も兼ねており、音源BOXが発音しているときに点滅します。

電源スイッチ

電源の入/切を行います。

[注意！] ご使用後は必ず電源をお切り下さい。

DC IN

付属のACアダプタを接続します。

[注意！] 付属品以外のACアダプタは、絶対に使用しないで下さい。

RS - 232

専用のオプションケーブルを使用してWindowsパソコンと接続、MIDIメッセージの送受信ができます。

MIDI

MIDI規格の製品やパソコン（Windowsパソコン、Macintosh）と接続ができます。

MIDI IN : MIDIメッセージを受信します。

MIDI OUT : MIDIメッセージを送信します。

MIDI / RS - 232 切り換えスイッチ

MIDIとRS - 232のどちらを使用するかを切り換えるスイッチです。

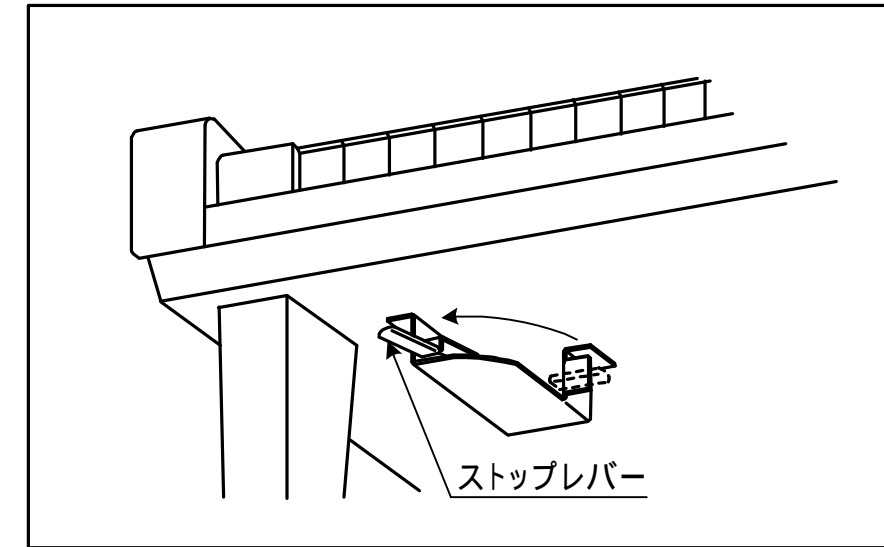
ライン出力

音源BOXの音を外部オーディオ機器へ出力します。

音源BOX前面にあるボリュームにて出力レベルを調節できます。

*Macintoshは米国Apple Computer, Inc.の登録商標です。

- (1) ピアノの実音を消すときは、ストップレバーを手前に引きます。
元に戻すと、通常のピアノ演奏ができます。



ストップレバーの操作

- (2) ACアダプタがコンセントに差し込まれていることを確認して下さい。
(3) ボリュームが最小であることを確認して、電源スイッチをオンにします。
(4) ヘッドホン（付属）をヘッドホンジャックへ接続します。
(5) セレクトスイッチで好みの音色を選択します。
(6) ボリュームをお好みの位置に合わせヘッドホンで演奏をお楽しみ下さい。
尚、ペダル操作は下記のように対応しています。

右側	ダンパー（サスティーン）ペダル	音に余韻が出ます
左側	ソフトペダル	音が柔らかくなります

[注意！] 3本ペダルの場合、中央のペダルには対応していません。

- (7) ご使用後はボリュームを最小にした後、電源スイッチをお切り下さい。
尚、長時間ご使用にならない場合は、ACアダプタをコンセントから抜いておいて下さい。

5 . デモ演奏を聴く

音源BOXにはデモ曲が入っています。曲数は全5曲で、1～3曲目は生演奏を収録したものです。

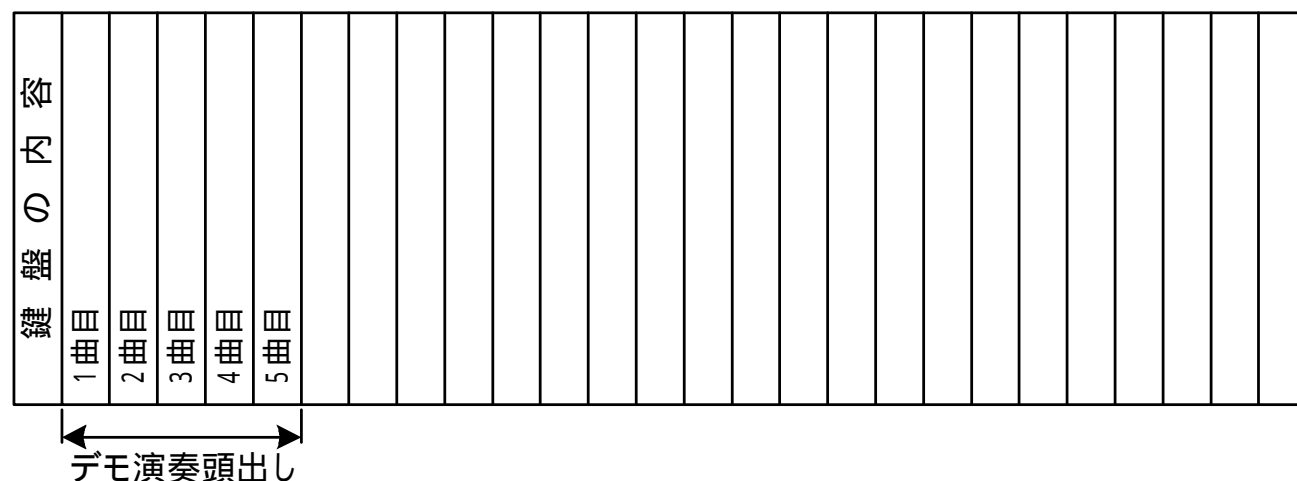
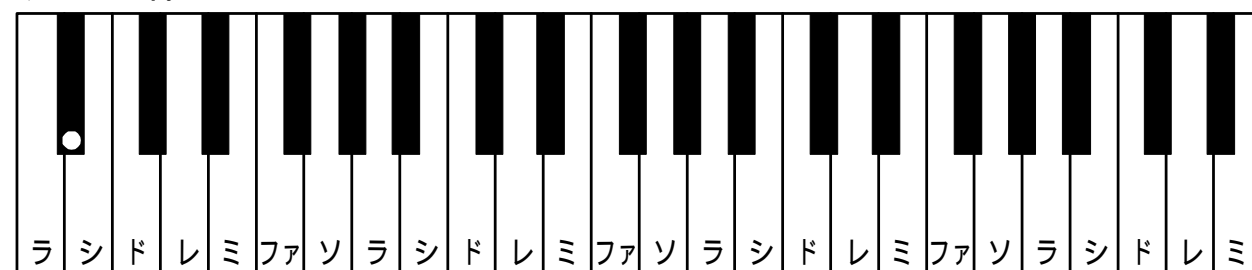
曲順	演奏	曲名	作曲者
1	ピアノ	乙女の祈り	パダルジェフスカ
2	ピアノ	主よ人の望みの喜びよ	J.S.バッハ
3	ピアノ	リベルタンゴ	アストラ・ピアソラ
4	アンサンブル	オリジナル1	-
5	アンサンブル	オリジナル2	-

設定方法

- (1) 再生スイッチを押しながら、電源を入れます。
- (2) 再生ランプが点滅して1曲目から順に演奏を開始します。デモ演奏中は下記鍵盤を押すことにより、曲を選択することができます。また、印の鍵盤を押すことで、1曲目から順に全曲演奏されます。
- (3) デモ演奏を終了する時は、再生スイッチをもう一度押して下さい。

[注意！] デモ演奏中は、鍵盤からの音は出ません。

鍵盤左端



6 . 録音と再生

演奏した内容の録音と再生が行えます。連弾や反復練習などに便利です。

使用方法

- (1) セレクトスイッチを好みの音色に選択します。
- (2) 録音ボタンを押します。録音ランプが点灯して、準備完了です。
- (3) 演奏を行います。演奏が始まると同時に録音を開始します。
- (4) 演奏が終了したら、録音ボタンをもう一度押します。同時に録音ランプが消灯して、録音が完了します。

[注意！]

- ・録音数は1演奏のみです。新たに録音操作を行うと前回の録音内容は消えてしまいます。
- ・録音される内容は、演奏情報とペダル操作及び、選択された音色です。
- ・パソコンからのMIDI演奏とピアノ演奏を同時に録音することが可能です。
- ・録音容量は約10,000音ですが、ペダル操作やセレクトスイッチの切り換え等も含まれます。録音中に録音容量がいっぱいになると、録音は自動停止されます。
- ・録音した内容は電源を切っても約1週間は保存されます。
- ・録音した内容は、録音ボタンを押しながら電源スイッチを入れるとチャイム音が鳴り、消すことができます。

- (5) 再生ボタンを押すことで、再生ランプが点灯して、約1秒後に演奏が再生されます。再生中でも鍵盤からの演奏が可能です。
- (6) 再生を終了したい時は、再生ボタンをもう一度押します。同時に再生ランプが消灯して、再生が止まります。

再生速度0.5倍～2倍まで変更できます(次頁の変速再生をご覧ください)。

[注意！] 内蔵のメトロノーム音に合わせた録音はできますが、再生時にメトロノーム音は鳴りません。

7. 変速再生

録音した演奏は再生速度を変えて聴くことができます。変速範囲は録音した演奏を標準として、0.5倍～標準～2倍まで±5段階です。

段階	- 5	- 4	- 3	- 2	- 1	± 0	+ 1	+ 2	+ 3	+ 4	+ 5		
速度	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.4	1.6	1.8	2.0		
	遅い	←					標準	→					速い

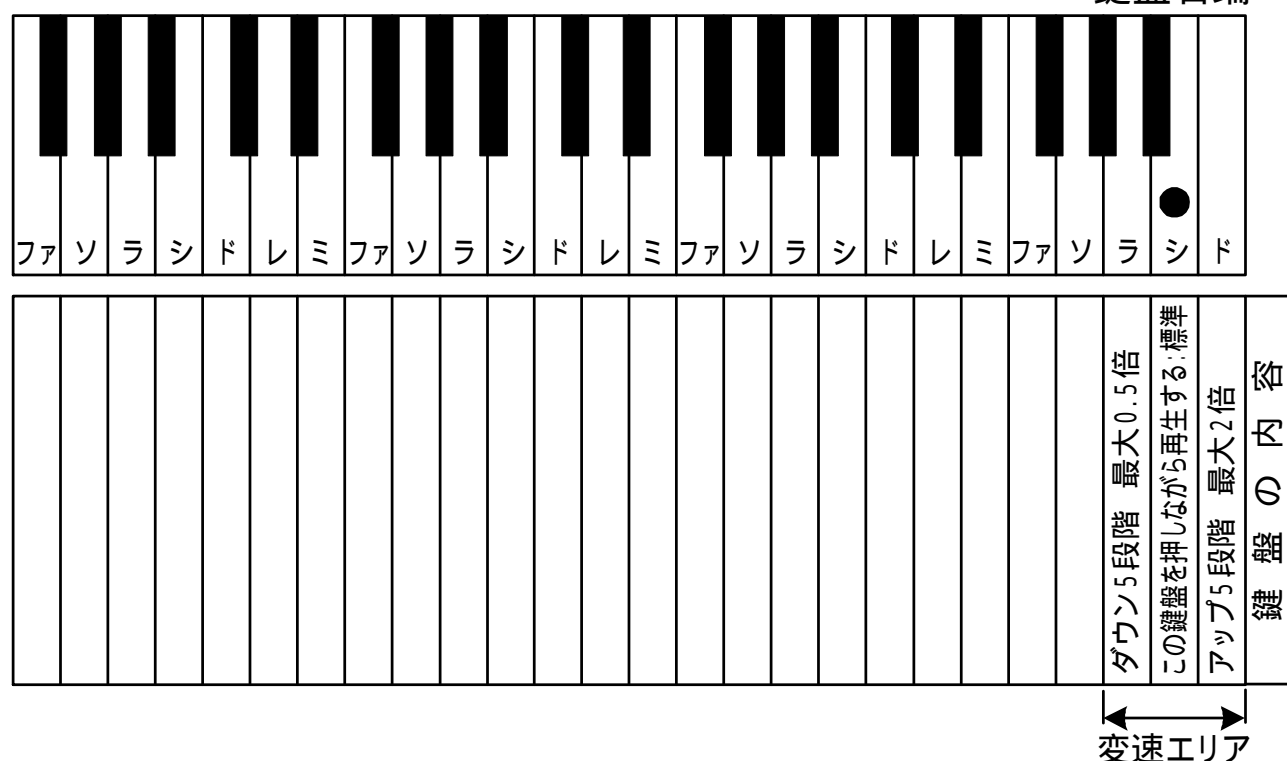
設定方法

- (1) 印の鍵盤を押しながら再生スイッチを押します。
- (2) 録音した演奏が開始されます。(前回設定した再生速度です。また、新たに演奏を録音した時の再生速度は標準です)
- (3) 下記鍵盤表の`変速エリア`よりアップ鍵盤、ダウン鍵盤を操作して好みの速度で再生して下さい。変速再生中に 印の鍵盤を押すと速度が標準に戻ります。
- (4) 演奏を終了する時は、再生スイッチをもう一度押して下さい。

[注意!]

- 再生中にセレクトスイッチをメトロノームマークに合わせると、再生が停止されます。
- 再生中は変速エリア内の鍵盤は操作部となる為、弾いても音は出ません。

鍵盤右端



8. メトロノームを使う

メトロノーム音のON/OFF、拍子やテンポ、メトロノームの音量といった各設定を行います。

メトロノームを鳴らす

- (1) セレクトスイッチをメトロノームマークに合わせます。
(セレクトスイッチがこの位置にあるときは鍵盤からの音は出ません)
- (2) ダンパー(右)ペダルを踏んでメトロノーム音を鳴らします。
- (3) 次頁鍵盤表の`拍子エリア`から拍子を選択します。
- (4) 次頁鍵盤表の`テンポエリア`からテンポを選択します。
テンポエリアは10の位と1の位に分かれており、はじめに10の位の設定を、次に1の位をそれぞれ設定します。設定できるテンポは30~199の範囲です。

- ・例1 テンポを132にしたい!
- ・例2 テンポを100にしたい!

10の位で130を選択。

10の位で100を選択。

1の位で2を選択。

1の位は設定しません。

- (5) 次頁鍵盤表の`音量エリア`からメトロノームの音量を選択します。
- (6) セレクトスイッチを好みの音色に切り換えて演奏を行って下さい。
メトロノームのままですと設定した内容が記録されません。

既に設定済みのメトロノーム音を鳴らす時は(1) (2) (6)の順に行ってください。

[注意!] 設定した内容は電源を切っても保持されます。

メトロノームを止める

- (1) メトロノーム音を止める時は、セレクトスイッチをメトロノームマークに合わせて、ダンパー(右)ペダルを踏んで下さい。
- (2) セレクトスイッチを好みの音色に切り換えて演奏を行って下さい。

[注意!] セレクトスイッチがメトロノームの位置では鍵盤からの音は出ません。

【鍵盤表】

この鍵盤を押したまま電源を入れる

音色設定エリア

鍵盤の内容
1 チェレスタ
2 鉄琴
3 オルゴール
4 ビブラホン
5 マリンバ
6 管ベル
7 サンタ
8 ロックオルガン
9 バイブオルガン
10 リードオルガン
11 アコーデオンの
12 ハーモニカ
13 アコースティックギター
14 エレキギター
15 ギターハーモニクス
16 フィンガリングエレキベース
17 シンセベース
18 ピオラ
19 ストリングス1
20 ストリングス2
21 ハープ
22 ティンパニー
23 シンセストリングス1
24 シンセストリングス2
25 ボイス1
26 ボイス2
27 ボイス3
28 オークストラヒット
29 トランペット

鍵盤左端

音色設定エリア

30 トロンボーン
31 チューバ
32 フレンチホルン
33 フラス隊
34 シンセブラス
35 オーボエ
36 バスーン
37 クラリネット
38 ピッコロ
39 フルート
40 リコーダー
41 バンフルート
42 尺八
43 オカリナ
44 シンセサイザー-1
45 シンセサイザー-2
46 シンセサイザー-3
47 シンセサイザー-4
48 シンセサイザー-5
49 シンセサイザー-6
50 シンセサイザー-7
51 シンセサイザー-8
52 シンセサイザー-9
53 シンセサイザー-10
54 シンセサイザー-11
55 シンセサイザー-12
56 シンセサイザー-13
57 シンセサイザー-14
58 シンセサイザー-15
59 シンセサイザー-16
60 シンセサイザー-17
61 シンセサイザー-18
62 シンセサイザー-19
63 シタール
64 バンジョー
65 三味線
66 琴
67 バグパイプ
68 スチールドラム
69 太鼓
70 鳥声
71 ヘリコプター
72 拍手
73 ガンショット

鍵盤右端

10 . リバーブ設定

リバーブ（音の残響）を好みの種類と深さに設定できます。リバーブの種類には、ルームタイプ（室内の響き）、ホールタイプ（コンサートホールの響き）があります。

設定方法

- （1） 印の鍵盤を押しながら電源を入れます。リバーブ設定モードになったことをチャイムでお知らせします。
- （2） 印の鍵盤を押したまま、下記鍵盤表より「リバーブの種類」（ルームタイプかホールタイプ）と「リバーブの深さ」を選択します。種類と深さはどちらからでも設定が可能です。また、 印の鍵盤を押すことで出荷設定（リバーブ無し）に戻すことができます。
- （3） 印の鍵盤から指を離します。この時、（2）で選択した最後のリバーブの種類と深さが設定され、電源を切っても変更されません。

鍵盤左端

押したまま電源を入れる

鍵盤の内容
リバーブ無し
レベル1 浅い
レベル2
レベル3
レベル4
レベル5
レベル6
レベル7
レベル8
レベル9
レベル10
レベル11
レベル12 深い
ルーム
ホール
出荷設定に戻す

リバーブの深さ

リバーブの種類

1 1 . 設定調整

お客様のピアノに合わせてSPA - 7500の設定を変更することができます。

[注意！] 取り付け完了後、調律師がお客様のピアノに合わせて設定の変更を行います。設定を変更するには、調律に関する知識と経験が必要です。お客様は行わないで下さい。もしもご自身で変更される場合は、調律師へのご相談をお勧めします。

1 1 - 1 チューニング

SPA - 7500の調律をお客様のピアノの調律状態に合わせることができます。

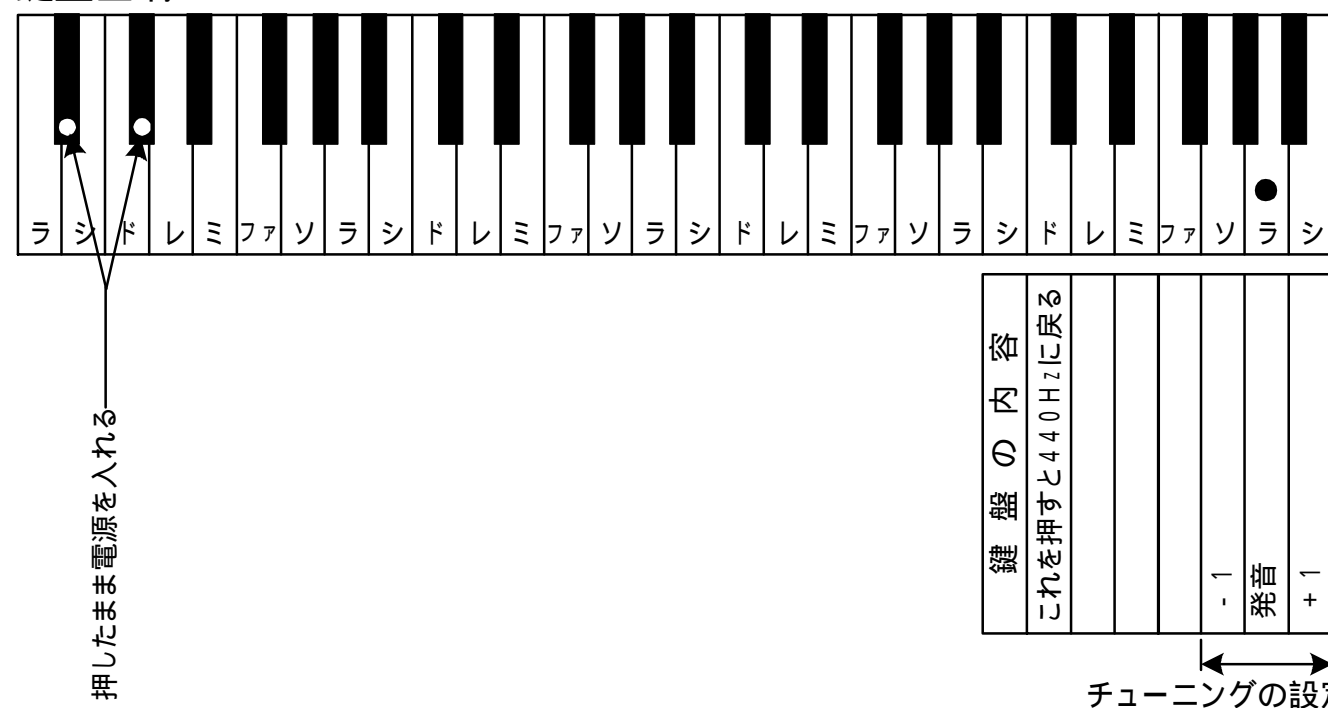
設定方法

- (1) ピアノを生演奏の状態にします。
- (2) 印の鍵盤を押しながら電源を入れます。設定モードになったことをチャイムでお知らせします。
- (3) 印の鍵盤を押したまま、下記鍵盤表の`チューニングの設定`より印の鍵盤にて本機が発音する音程を、+1、-1の鍵盤を使ってピアノ実音の音程に合わせます。

+1の鍵盤は1回の打鍵毎に約0.5Hz(最大+13Hz)
-1の鍵盤は1回の打鍵毎に約0.5Hz(最大-13Hz)

- (4) チューニングが終了したら、印の鍵盤から指を離します。この時、最後に合わせた音程が設定され、電源を切っても変更されません。

鍵盤左端



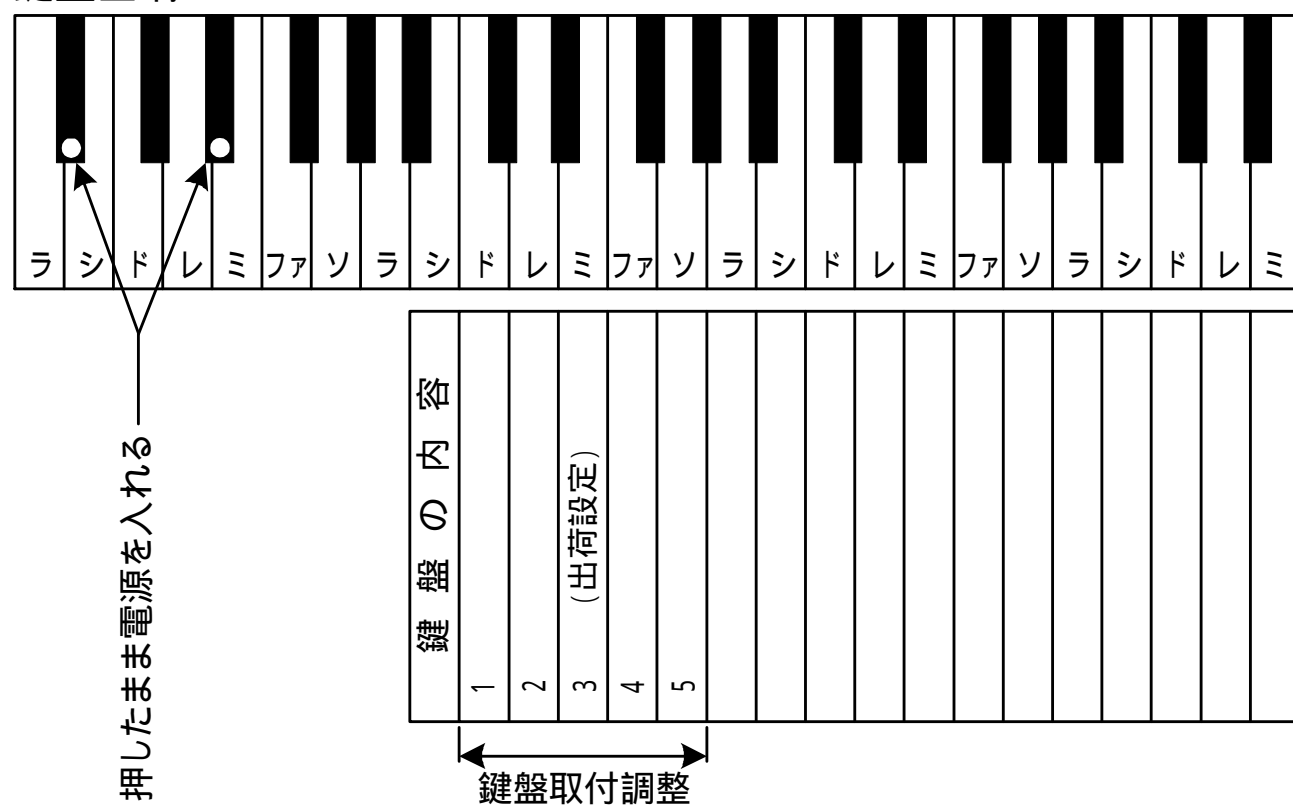
1 1 - 2 鍵盤取付調整

お客様のピアノの鍵盤を弾く力の強弱と本機からの音の強弱を最適にします。

設定方法

- (1) 印の鍵盤を押しながら電源を入れます。設定モードになったことをチャイムでお知らせします。
- (2) 印の鍵盤を押したまま、下記鍵盤表の`鍵盤取付調整`より、お客様のピアノ実音に合った強弱を選びます。強音が出にくい場合は4又は5を選択します。逆に弱音が出にくい場合は1又は2を選択します。
- (3) 選択が終了したら、印の鍵盤から指を離します。この時、最後に選んだ値に設定されます。その値は電源を切っても変更されません。

鍵盤左端



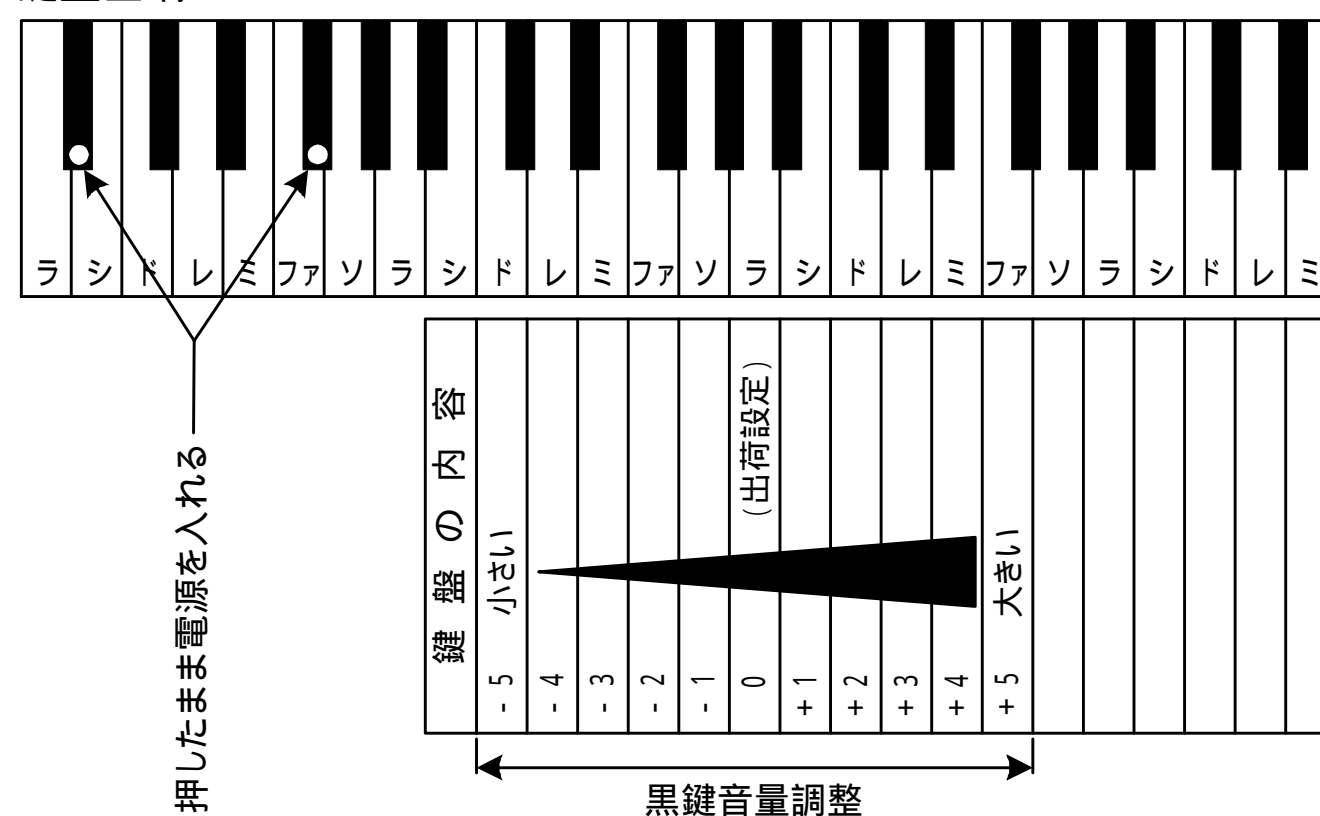
1 1 - 3 黒鍵音量調整

白鍵と黒鍵の音量バランスを調整することができます。

設定方法

- (1) 印の鍵盤を押しながら電源を入れます。設定モードになったことをチャイムでお知らせします。
- (2) 印の鍵盤を押したまま、下記鍵盤表より、白鍵音量に合った`黒鍵音量`を選択します。
- (3) 黒鍵音量の選択が終了したら、印の鍵盤から指を離します。この時、最後に選択した黒鍵音量に設定され、電源を切っても変更されません。

鍵盤左端

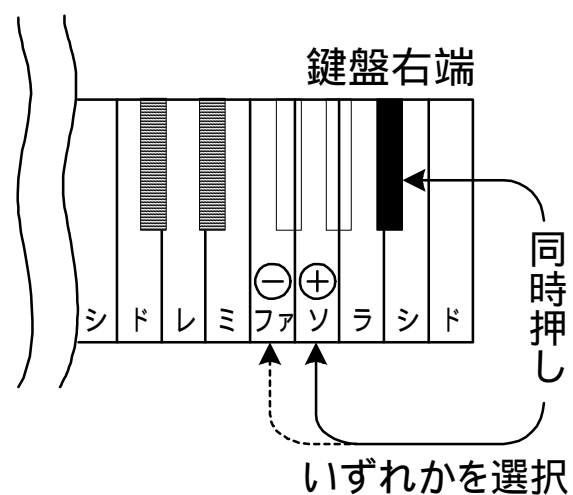


1 1 - 4 鍵盤ごとのレベル調整 (左 4 4 鍵盤)

左側の 4 4 鍵盤において鍵盤ごとに音量レベルの調整ができます。
各鍵盤の調整範囲は ± 5 段階です。(出荷設定 ± 0)

設定方法

- (1) レベルを上げたい時は黒鍵と + 印の白鍵を押しながら電源を入れます。
レベルを下げたい時は黒鍵と - 印の白鍵を押しながら電源を入れます。
設定モードになったことをチャイムお知らせします。
以降、鍵盤は押したままにします。
- (2) 左側の 4 4 鍵盤より、音量レベルの変更をしたい鍵盤を押します。
1 度押されることで、音量レベルが (1) で選択した側に 1 段階変更されます。
- (3) 変更を終了したら、押したままの鍵盤から指を離します。この時、
変更した値が設定され、電源を切っても変更されません。



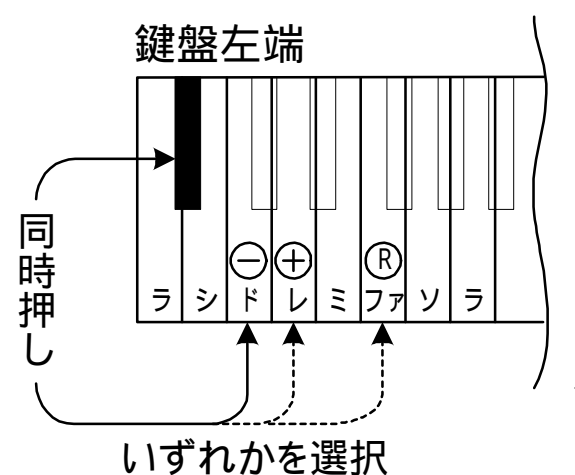
1 1 - 5 鍵盤ごとのレベル調整 (右 4 4 鍵盤)

右側の 4 4 鍵盤において鍵盤ごとに音量レベルの調整ができます。
各鍵盤の調整範囲は ± 5 段階です。(出荷設定 ± 0)

設定方法

- (1) レベルを上げたい時は黒鍵と + 印の白鍵を押しながら電源を入れます。
レベルを下げたい時は黒鍵と - 印の白鍵を押しながら電源を入れます。
設定モードになったことをチャイムお知らせします。
以降、鍵盤は押したままにします。
- (2) 右側の 4 4 鍵盤より、レベルの変更をしたい鍵盤を押します。
1 度押されることで、音量レベルが (1) で選択した側に 1 段階変更されます。
- (3) 変更を終了したら、押したままの鍵盤から指を離します。この時、
変更した値が設定され、電源を切っても変更されません。

全 8 8 鍵盤の調整内容をリセットしたい時は、黒鍵と R 印の白鍵を押しながら電源を入
れることで出荷設定 (± 0) に戻ります。



1 1 - 6 設定を初期化する

メトロノーム、音色、リバーブ及びチューニングなど、全ての設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

[注意！] 本設定を行いますと調整した内容は全て工場出荷時の設定に戻ります。

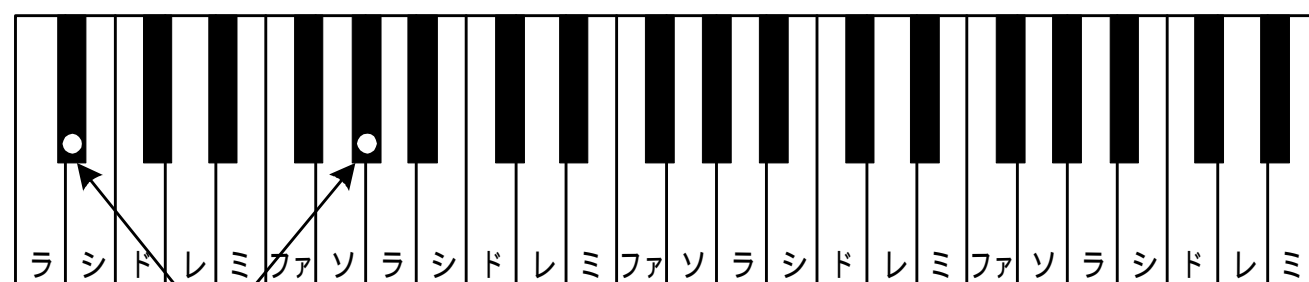
出荷設定内容

音色：A = ビオラ、B = シンセサイザー 1、C = ビブラホーン
リバーブ：無し
メトロノーム：拍子 = 4、テンポ = 80、音量 = レベル3
チューニング：15頁の 印鍵盤の音 = 440Hz
鍵盤取付調整：3
黒鍵音量調整：白鍵との発音差 = 0
鍵盤ごとのレベル調整：全88鍵盤 ± 0

設定方法

- (1) 印の鍵盤を押しながら電源を入れます。出荷設定に戻ったことをチャイム音でお知らせします。
- (2) 印の鍵盤から指を離します。

鍵盤左端



押したまま電源を入れる

1 2 . M I D I / R S - 2 3 2

M I D I とは

Musical Instrument Digital Interfaceの略で、楽器の演奏情報や音色の切り換え情報などを伝送することができる世界統一の規格です。SPA-7500はGM (General MIDI)スタンダードに準拠しており、市販のGM対応演奏データなどをパソコンやMIDI機器より演奏することができます。

M I D I

市販のMIDIケーブルを使用してMIDI規格の製品に接続できます。音源BOXに装備されるMIDIはINとOUTの2種類です。

MIDI IN : 他のMIDI機器からMIDIメッセージを受信します。

MIDI OUT : 他のMIDI機器へMIDIメッセージを送信します。

R S - 2 3 2

オプションの専用ケーブルを使用してパソコンと接続することにより、MIDIメッセージの送受信が行えます。

対応機種：Windowsパソコン (PC / AT互換機)

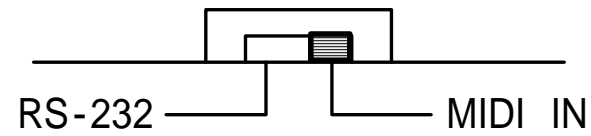
[注意！] MIDIシーケンサ等のアプリケーションは別途お買い求め下さい。
また、RS-232接続の場合、パソコンにシリアルドライバの組み込みが必要になります。

M I D Iチャンネルの仕様

SPA-7500では、鍵盤による演奏データをMIDIチャンネル1へ出力しています。また、録音したデータの再生はMIDIチャンネル16を使用しています。外部MIDI機器からSPA-7500へMIDIデータを送る際は、チャンネル1と16を避けてMIDIメッセージを送信して下さい。これらチャンネルにデータを入力して音色が変更された場合は、セレクトスイッチを一度切り換えるか、電源の再投入を行えば、元の音色に戻すことができます。

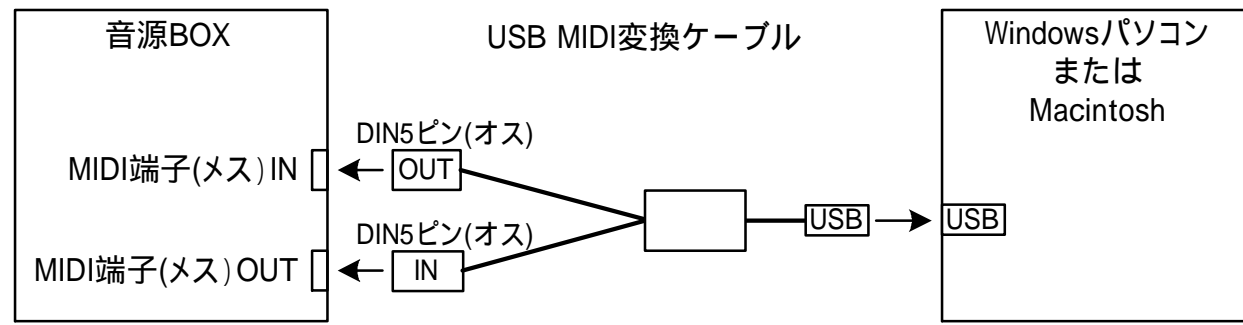
1 2 - 1 M I D I 接続例

音源BOXのMIDI / RS - 2 3 2 切り換えスイッチはMIDI側で使用します。



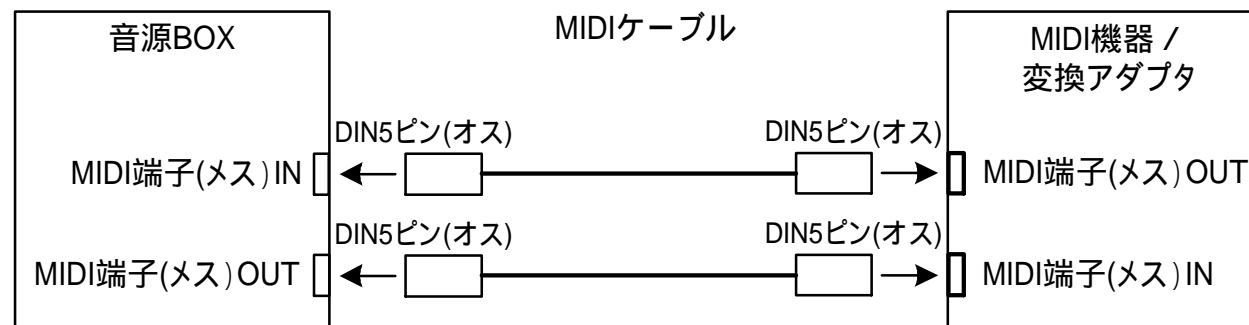
MIDI変換ケーブルの場合 (Windowsパソコン・Macintosh)

市販のUSB MIDI変換ケーブル等を使用して音源BOXと接続します。
(ローランド社製 EDIROL USB MIDI Interface UM-1にて動作確認済み)



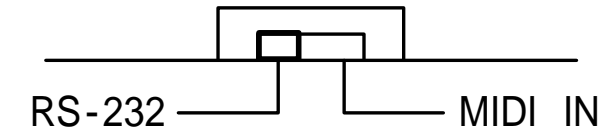
MIDI機器や変換アダプタの場合

MIDI機器や変換アダプタなどの場合は、市販のMIDIケーブルを使用して接続します。送信と受信の両方を行う際は、MIDIケーブルを2本使用して下さい。



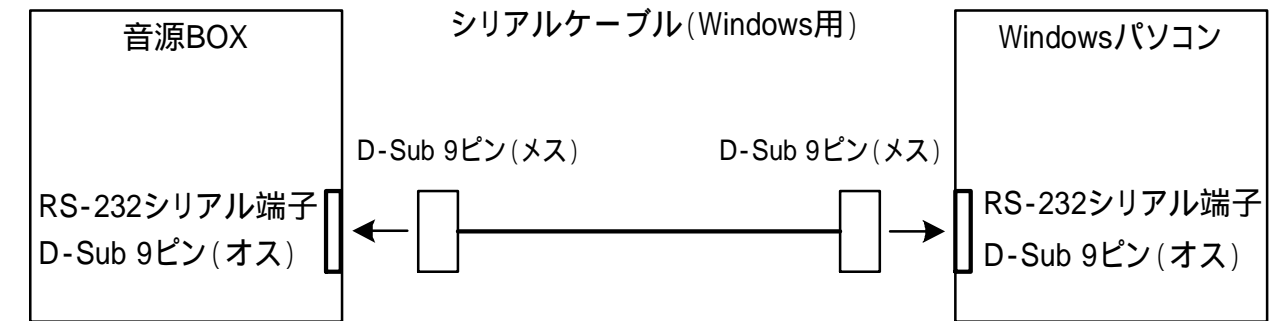
1 2 - 2 R S - 2 3 2 による接続例

音源BOXのMIDI / RS - 2 3 2 切り換えスイッチはRS - 2 3 2 側で使用します。



Windowsパソコンとの接続

Windowsパソコンとの接続には別売りのシリアルケーブルを使用します。
WindowsパソコンにはMIDIシリアルドライバソフトの組み込みが必要となります。
(ローランド社製Roland Serial MIDI Driverで動作確認済み)



14 . 故障かな？と思ったら

思ったように動作しないときは、まず次の点をチェックして下さい。チェックしても直らないときは、お買い上げ店にご連絡下さい。

音が鳴らない

- ・ACアダプタは、コンセントに差し込まれていますか？
- ・音源BOX裏のDC INにACアダプタジャックが差し込まれていますか？
- ・電源スイッチは、入っていますか？
- ・音源BOXのインジケータは点灯していますか？
- ・鍵盤を弾いて、インジケータが点滅しますか？
- ・ボリュームが、下がっていませんか？
- ・セレクトスイッチの位置が、メトロノームになっていませんか？
- ・ヘッドホンジャックが最後まで差し込まれていますか？

音が抜ける

- ・ダンパー（右）ペダルを踏みながら、多くの鍵盤を弾く場合などに同時発音数が足りなくなり音が消えることがあります。これは故障ではありません。

メトロノーム音が消えない

- ・セレクトスイッチがメトロノームマーク以外の位置にある場合は、メトロノーム音を消す事はできません。
メトロノーム音を消す時は、セレクトスイッチをメトロノームマークに合わせてダンパー（右）ペダルを踏んで下さい。

チャイム音が鳴らない

- ・指定された以外の鍵盤も押されたまま電源を入れていませんか？

消音していてもピアノから生音がもれる

- ・和音を強く弾かれた場合に、ピアノの音ももれることがあります。

15 . アフターサービス

ご購入後下記の期間、正常な使用方法において発生した故障につきましては、無償で修理いたします。故障した場合にはお買い上げになった販売店へご連絡下さい。

	保証期間
本 体	1 年間
ヘッドホン	6 ヶ月
ACアダプタ	6 ヶ月

販売店名：

住 所：

電話番号：

変更履歴

2005年 3月 3日	初版発行
2005年 5月17日	1.1版 更新 P19
2005年11月10日	1.2版 更新 P2,5
2005年11月30日	1.3版 更新 P5,19
2006年11月21日	1.4版 全面改訂
2006年12月26日	1.5版 全面改訂
2007年 6月14日	1.6版 設定調整項目追加
2008年 6月 2日	1.7版 更新 P15,25

ニッシンエレクトロ株式会社

住 所：〒188-0014 東京都西東京市芝久保町4 - 4 - 32
電話番号：042 - 465 - 9321 (代)
F A X：042 - 465 - 7255
